

# 岳洋学舎だより

令和2年8月号

— 自信をもち自分の力を発揮する小笠の子ども — (岳洋中、北小、東小、南小)

## — 第1回岳洋学舎運営協議会を開催しました —

7月31日(金)に菊川市中央公民館で岳洋学舎運営協議会を行いました。地区自治会やコミュニティ協議会、青少年健全育成会の代表者など約40名が参加しました。



運営協議会では、委員長のあいさつに続き、事務局校から新型コロナウイルス感染症に対する学校の対応や岳洋学舎の取組を報告した後、参加者が5グループに分かれて「あいさつ運動」について討議しました。どのグループも熱心に話し合いが行われました。

### 岳洋学舎の取組の充実を 委員長 赤堀眞理

新型コロナウイルスの感染症の全国規模の蔓延による学校の臨時休業で卒業、入学、進級と子どもたちが一番心ときめく時間が失われてしまいました。また、夏休みの短縮や学校行事の延期や縮小、中止などで、子どもたちの楽しみやめあてがなくなりつつあります。このような難しい状況の中で、子どもたちの学びを守り、学習や生活のリズムを整え、感染防止に配慮するなど学校で先生方が日々御苦労されていることの大変さを思い、深く感謝したいと思います。



地域の皆様には休業期間中、再開後の登下校の見守り、学習支援に御尽力いただき誠にありがとうございました。地域の中に子どもたちの姿が見えず、声が聞こえないのは寂しいだけでなく、地域の活力の低下を感じます。子どもたちの元気が活気ある地域を支えていると言えるでしょう。感染拡大が止まず、先行きが見えない中、家庭と学校、地域が一体となって子どもたちの学力、心身の健康を守るため、御尽力くださいますようよろしくお願いいたします。

昨年「学びの庭」構想・小中一貫教育の取組が始まり、岳洋学舎として様々なことに取り組んでまいりました。本協議会の第1回の立ち上げの会、第2回の目指す子ども像の共有、そして今後の活動に向けたグループの話し合い等を行い、取組の充実のために寄与してまいりました。

岳洋学舎では、年間計画を大幅に変更して、子どもたちの授業の遅れを取り戻すことを最優先に考えてまいりました。その結果、地域と連携した授業や活動、また小中の接続のための合同授業などを中止せざるを得ない状況でした。今後もコロナ禍において実施できることは限られてくると思いますが、子どもたちの教育のために、岳洋学舎の取組を充実させていきたいと考えています。委員の皆様のご理解と御協力をよろしくお願いいたします。

## 『あいさつを盛り上げよう』

赤堀委員長が地域・学校・家庭が一体となって取り組む「あいさつ運動」について提案した後、グループごとに分かれて話し合いを行いました。話し合われた内容の一部を紹介します。



### 《あいさつの現状と課題》

- 大人から声をかけ、慣れてくると子どもたちから手を振るなど、心が解れてくるようである。
- 中学校では、部活動でのあいさつが習慣づいている。
- 声に出さなくてもお辞儀をしていく子がいる。
- 横断歩道を渡り終えた後、止まってくれた運転手にお礼を言う子、お辞儀をする子がいてすばらしい。
- 顔見知りだからかもしれないが、「お帰り」に「ただいま」のあいさつが返ってくる。
- △個人差があり、あいさつをする子としない子がいる。
- △あいさつ運動期間中はするが、運動がない時は少ない。
- △コロナの影響であいさつが下火になっている。
- △恥ずかしい気持ちがあるのか、あいさつを返せない。
- △あいさつの様子を見ていると、言葉がはっきりしない。



- ※人間性を高めること。それには、読書で心を育てる、交流の場をつくる、笑顔であいさつをするなどが必要である。地域で何ができるかを考える。
- ※目と目を合わせることでふれ合える。繰り返して顔なじみになることが大事である。
- ※時と場に合わせたあいさつができる子どもたちにしたい。
- ※コミュニケーション力の育成に向けての切り口として、あいさつを皆で盛り上げたい。
- ※家庭や地域で、大人から積極的にあいさつをしていくことが大切である。

### 《あいさつ運動の具体策など》

- ・民生委員は月1回の運動をしているが、地域の人たちも参加したらどうか。
- ・アンケートの中でのあいさつについて尋ねる項目で、結果を数値化したらどうか。
- ・あいさつだけではなく、「がんばって」などの一言言葉を添える。
- ・手を挙げる、会釈をするなどでもコミュニケーションを取ることができる。
- ・ふれ合う機会が少なくなっているので、地域の人々が地域を歩くのがよい。
- ・遊びの中でのあいさつプロジェクトのようなものがあればよい。
- ・あいさつのポスター等を作ることもよい。

あいさつ運動の具体的な取組は、委員の皆様の御意見を参考にしながら事務局校の小笠南小と菊川市教育委員会事務局で計画を立てて実践していきます。地域の皆様の御協力をお願いします。